

かがやき

【周東地区小中一貫教育目標】

『ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成』

令和7年6月5日



☆キャリア教育講演会

6月2日（月）の午後から、北九州市の鎮西敬愛学園敬愛小学校の龍達也校長先生をお招きし、『未来を変えるための3つの方法』と題してお話をいただきました。未来は急速に変わっていくので、3つの視点を持つことが大切だと教えていただきました。当日は保護者の皆様や学校運営協議会の方々もご来校いただき、ありがとうございました。

①「変化に対応できる力～思考を変える～」 考え方→行動→結果

- ・考え方を変えることが成功への第一歩
- ・今起こっているできごとに意味を与えるのはあなた次第

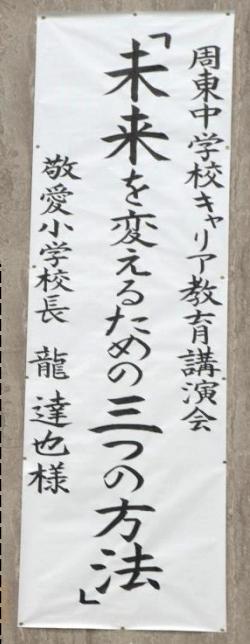
②「チャレンジ：継続することの大切さ」

- ・自分で限界を決めないこと。その限界は幻である。
- ・困難とは、「今難しい」だけ。

③「感謝の気持ちをもつこと」 お陰様で 有難う

- ・たくさんの人に応援してもらっている。
- ・「ありがとう」の数だけ人は成長する。 【裏面に生徒の感想を掲載していますのでご覧ください。】

兼任 若菜さん（3年生）直筆の
素晴らしい演題です



◇「弁当の日」に向けての調理実習（1年生）

5月28日・30日に、1年生が「弁当の日（6/15）」に向けて調理実習を行いました。今回も「わくわくしゅうとうネット協議会」から、食生活推進協議会の皆さんや地域の方々を派遣していただき、実習のお手伝いをしていただきました。ありがとうございました。

生徒の皆さんには、100%自分の力で作ることをめざしましょう。今回のテーマは「3色弁当」です。どんな弁当ができるか楽しみにしています。（次回、「弁当の日」は、12月15日です。）



【生徒の感想】

- ・野菜を切ったりするのがすごく難しかったけど、楽しかった。野菜炒めの味付けをするときに、どのくらい焼き肉のタレを入れていいか分からなかったから、すごくたいへんでした。お弁当の日に調理実習で習ったことを生かして、お弁当づくりを頑張りたいです。以前よりも料理をつくるのが好きになったので、これからもいろんな料理にチャレンジしたいです。
- ・1品つくるのは簡単だけど、お弁当のおかずをたくさんつくり弁当箱に詰めたりするのが難しかった。食べた後、自分から洗い物ができたから、そこは良かったと思う。

※「学校だより」のカラー版は、周東中ホームページをご覧ください。（文責：校長）

◇キャリア教育講演会の感想◇



- 僕は今日、中学生になって初めての講演会で龍先生の話を聞いて、2つのことをやってみようと思いました。1つ目は、「自分を超える」ことです。何かをやろうと思ったら100%壁がでてきます。僕は何かをいざやろうとすると、すぐに壁が出てきてすぐに引き返しますが、今日の話を聞いて、弱い自分と壁を超えてみようと思いました。2つ目は、「夢や目標をあきらめない」ことです。僕には夢がありますが、いつも時間がたつにつれ、絶対にできないだろうなと考えてしまいます。しかし今日の話を聞いて、あきらめなければいつか必ず夢が叶い、その夢に向かって努力しようと思いました。何か自信がつきました。(1年)
- 今日の講演で心に残った言葉は、「同じ景色でも感じ方は人それぞれ」と言うことです。自分はこうだと思っても相手はそうだとはかぎらない。その人その人の感じ方だということが分かりました。次に心に残ったのは、「あきらめないこと」です。私は数学や社会が苦手で、もういいやと思ってしまうこともあるけど、龍先生の話を聞いて、あきらめずに夢を追い続けたら実現するとかわかり、何事もあきらめずに頑張ろうと思いました。次に心に残ったのは、白いシャツを着た人たちは、何回パスをしたかという問題です。私は白いシャツを着た人たちだけに目がいきすぎて、途中でムーンウォークした熊が出てきていたことに気付きました。色々のところに視野を広げて、周りをよくみて頑張ります。(1年)
- 今日、講演していただいたことの中で一番心に残ったことは、「感謝の気持ちをもつ」ことです。私は最近、家族に感謝の気持ちを伝えていないなと思いました。少し気にくわないことがあると、親の話を無視していることがあります。話の中で出てきた青年のように、家族に何かあったときに気付くのでは遅いんだと感じました。感謝の気持ちを伝えると優しくなれることが分かったので、今日からやってみようと思いました。支えてくれている人たちは、私のためにたくさんのことしてくれているということを意識して、感謝の気持ちを伝えようと思います。今日の龍先生のお話で色々なことに気付きました。これからはしっかり「ありがとう」を伝えて、自分なりに成長していくこう思います。(2年)
- うまくいかない時に、考え方を変えることが未来をひらく第一歩だということが分かった。うまくいかなくて壁にぶつかることが多いけど、大リーグをめざして頑張った生まれつき片腕のピートのように、諦めない気持ちをもって一生懸命頑張っていれば、新しい自分を見つけることができるという考え方を知ったので、自分もマイナスと思われるようなことをポジティブに捉えてみようと思った。身近にいる家族は私のことを一番知っていて信じてくれるし支えてくれる人たちだから、いつも一緒にいすぎて忘れてしまいかがちだけど、普段から感謝しようと思ったし、そういう人のために頑張りたいと思った。(2年)
- 僕は、「考え方を変えることが未来をひらく第一歩」という言葉が心に残りました。僕はサッカーをやっていますが、試合中によくないムードになって負けている状況で、「どうでもいいや」とか「この試合、たぶん負けるな」と思ったことが何度かあります。今日の講演を聞いて、弱音を吐いている自分は夢を語ってはいけないと思いました。考えが甘すぎる自分がとても悔しいです。これからは、考え方を変えて最後まで諦めないように頑張りたいです。この世の中、結果が全てだと僕は思っているので、まずは考え方を変えたいです。やろうとするかやろうとしないかで未来は大きく変わってくることが分かりました。自分の未来・夢・人生をよりよいものにするために、今日学んだことを頭にいれておきたいです。(3年)
- 私は、今日の講演会で諦めないと感謝の気持ちを大切にするということが心に残りました。その理由は、片腕の大リーガーのピートが言っていた、「勝利者は、常に諦めない」という言葉がすごくいいなと思ったからです。また、別の話で、母親が息子に「おまえは、すばらしい」という言葉をどんなときでもかけていたという話に感動したからです。私は小学校で嫌な思い出がある時期がありました。そのときに、いつもすぐに動いてくれたのは両親でした。今、改めて考えてみるとたくさん迷惑をかけたし、たくさん救ってくれていたことに気付きました。これからは、今日教えていただいたことを、これから的人生に生かしていきたいと思いました。(3年)